

1 単元名

関連する作品を読んで、すいせんしよう（教材：ヒロシマのうた、いわたくんちのおばあちゃん）

2 単元の目標

1(3)才、2 C(1)エカ 言語活動：関連付けた作品の推薦

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
読書が、自分の考えを広げること に役立つことに気付くことができる。	想像した人物像や全体像とかかわ らせながら表現の効果を考え、まと めた意見や感想を共有し、自分の考 えを広げることができる。	言葉がもつよさを認識するととも に、進んで読書をし、国語の大切さ を自覚して思いや考えを伝え合おう とする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 読書によって、多様な視点から 物事を考えることができるように なることに気付いている。	① 「読むこと」において、感動を 生み出す叙述や暗示性の高い表現、 メッセージ、題材を強く意識させ る表現に着目し、それらの効果に ついて自分の考えを明らかにして いる。 ② 「読むこと」において、互いの 意見や感想の違いを明らかにした り、よさを認め合ったりしている。	① 学習計画に沿って見通しをもち、 進んで読書をし、共有した意見や 感想から自分の考えを広げ、関連 付けた作品を推薦しようとしてい る。

4 単元について

本単元は、関連付けた作品を推薦する活動をとおし
て、豊かに感じたり想像したりする力を養い、伝え合
う力を高め、自分の思いや考えを広げることができる
ようにすることをねらいとしている。

本教材は、戦争を生きた人物を描いた文学的文章で
ある。「ヒロシマのうた」は、原爆で母を失ったヒロ子
の成長をとおして、葛藤や安堵する中心人物の姿が描
かれている。「いわたくんちのおばあちゃん」は、原爆
を経験した知人の話を機に、平和を誓う中心人物の姿
が描かれている。共に心を打つ場面や表現があり、発
達の段階からも様々な感想等をもつと考えられる。そ
のため、作品を関連付けて共通点等を見だし、感想
等を共有して考えを広げるといふ学習に適している。

本単元は、複数の作品を関連付けて読み、自分の考
えを広げる力の育成が期待でき、本校のめざす言語能
力や感性を育むうえで意義がある。

5 子どもについて

子どもは、4月「朗読で表現しよう」、9月「話し
合って考えを深めよう」等において、テーマに関する
自分の意見や感想をもち、小グループや全体で話し合
い、自分の考えを広げる経験をしている。その際、互
いの共通点や相違点に着目し、見いだしたことを自分
の考えに生かす姿が見られた。一方で、自他の考えの
違いやよさに目を向け、そのことを自分の考えに生か
すことができたかを実感するまでには至っていない。

国語科学習においては、単元のゴールに向かって仲
間とかかわりながら、意欲的に言語活動に取り組む姿
が見られる。学習後にアンケートを実施したり、その
結果を共有したりしてきたことで、1単元で用いた情
報の扱い方や、対話による考えの広がりや深まり、学
習前後の考えの変容を実感する姿が広がってきてい
る。また、身に付けた言葉の力のよさや日常生活との
つながりに目を向ける子どもも増えてきている。

6 子どもが「学びをつなぐ」ための学習指導

<p>○ 研究内容1：子どもが確かな考えをもつ学びのプロセスの在り方</p> <p>「挑む」段階において、2つの作品を関連付けながら内容を理解する際には、「問い→考え→確かな考え」の過程に、関係付けや対話を位置付けることで、毎時間の問いに対する考えを確かに行うことができるようにする。</p> <p>本時では、ヒロ子が作製したワイシャツの刺繍に関する一文に映し出されているものを問い、複数の優れた叙述を関係付けて考えさせる。また、問いに対する最初の考えをもつ場面と、話し合ったことを基に再度考えをまとめる場面において、小グループによる対話を位置付ける。そうすることで、ワイシャツの刺繍に映し出されたヒロ子の思いに対する考えを確かなものに行うことができるようにする。</p>
<p>○ 研究内容2：子どもが言葉の力を自覚するための手立て</p> <p>単元をととして「関連付けて読むとは何か。」と問い、その意味を明らかにさせていくことで、言葉の力「関連付けて読む」の自覚を徐々に高められるようにする。また、「生かす」段階の最初に、推薦図書カードで押さえる観点とその到達状況を確認させることで、言葉の力を捉え直し、推薦図書カードや座談会に生かせるようにする。</p> <p>本時では、始めと終わりに書いた考えを比較して考えの変容の有無やきっかけを確認したり、他方の作品も同様に考えることができるかを問うたりすることで、学びを実感したり、言葉の力を自覚したりできるようにする。</p>

7 単元指導計画（12時間）

段階	主な学習活動及び学習内容	主な教師のかかわり	知・技	語・料・表	態
生み出す (2)	<p>1 単元のゴールから単元のめあてを設定し、学習の見通しをもつ。 〈2時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉の力 (1) <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連付けて読む ○ 単元のゴール <ul style="list-style-type: none"> ・ 推薦図書の座談会 ○ 単元のめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 複数の作品を関連付けて読み、推薦図書の座談会をしよう。 </div> ○ 学習計画 ○ 自分のめあて (1) 	<p>○ 既習教材「サボテンの花」、「生きる」を想起させ、以下の活動を行わせることで、本単元の言葉の力を捉えることができるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>① 関連付けて読むとは何かを問い、イメージを共有する。 ② 2つの作品に共通するテーマを確認する。 ③ 時、場所、人物の観点で、共通点や相違点を整理する。 ④ 優れた叙述を関係付け、②に対する意見や感想を伝え合う。</p> </div> <p>○ 「ヒロシマのうた」と「いわたくんちのおばあちゃん」を範読した後、戦争や平和をテーマにして、単元のゴールに向けた自分のめあてを立てたり、並行して読みたい本を考えたりさせる。そうすることで、本単元の見通しや目的意識をもち、意欲を高められるようにする。</p>			
	<p>2 新出漢字や語句の意味を確認し、文章全体を大まかに把握する。 〈2時間〉</p> <p>3 2つの作品を読み、関連付ける。 〈5時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 共通点や相違点 <ul style="list-style-type: none"> ① 時、場所、人物 (1) ② 出来事、全体像 (1) ③ ワイシャツの刺繍 (1) ④ にわうるしの木 (1) ○ 意見や感想 (1) <ul style="list-style-type: none"> ・ ①～④を踏まえたまとめ 	<p>○ 2つの作品の場面分けを行い、比較させることで、各作品の文章全体を大まかに捉え、次時以降の関連付けて読むことの見通しをもつことができるようにする。</p> <p>○ 以下の活動を行いながら、2つの作品を読み、関連付けていく。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>①② 共通点や相違点について、ベン図を使って整理する。 ③④ 優れた叙述を関係付ける。</p> </div> <p>○ ①～④を踏まえて、戦争や平和に対する意見や感想、関連付けて読むということに対する考えをまとめ、共有させることで、現時点の学びを実感したり、単元のゴールに向けて言葉の力を自覚したりできるようにする。</p>			①
生かす (3)	<p>4 関連付けた作品を基に、意見や感想を伝え合い、学習をふりかえる。 〈3時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作品の関連付け (2) <ul style="list-style-type: none"> ・ 推薦図書カードの作成 ○ 推薦図書の座談会 (1) ○ ふりかえり <ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット型端末によるアンケート <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>〈観点〉作品の関連付けの仕方、対話のよさ、考えの変容、言葉の力のよさと日常とのつながり等</p> </div>	<p>○ 並行して読書した作品を推薦図書カードにまとめる前に、以下の観点を確認させることで、本単元の言葉の力を捉え直し、まとめる際に生かせるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>① 時、場所、人物について、共通点や相違点を確認できているか。 ② 優れた叙述を関係付け、戦争や平和に対する意見や感想をもっているか。</p> </div> <p>○ 推薦図書カードを小グループ内で紹介し合い、出された意見や感想を整理し、更に複数の作品を関連付けさせることで、戦争や平和に対する自分の考えを広げることができるようにする。</p> <p>○ 観点を明確にして本単元をふりかえらせることで、学びの実感と言葉の力の自覚につなげられるようにする。</p>			② ①
					記述分析
					①
				記述分析 行動観察	
				記述分析	

8 本時の目標

優れた叙述に着目し、ワイシャツの刺繍に映し出されているヒロ子の思いについて、自分の考えを明らかにすることができる。

9 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり (★は評価にかかわるもの)
<p>1 本時の学習について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本教材の挿絵（ヒロ子が名札を手取る場面） <ul style="list-style-type: none"> ・「名札を手取るヒロ子が映し出されているね。」 ・「灯籠も映し出されているね。」 等 ○ 学習問題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">この一文には、何が映し出されているのだろう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「映し出す」という語句の意味を確認した後、本教材の挿絵を提示し、何が映し出されているかを問い、確認する。その後、本文中の刺繍に関する一文を提示し、同様に問い、仲間と確認させることで、問題意識へとつなぐことができるようにする。
<p>2 考えと学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考え <ul style="list-style-type: none"> ・「原子雲とイニシャルかな。」 ・「水色の刺繍だと思ふな。」 等 ○ 学習の見通し <ul style="list-style-type: none"> ① 考えの記述（学習プリント） ② 個人→全体 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現時点での考えを書かせることで、その後に自他の考えを比較しながら対話したり、本時の終末でまとめる自分の考えとの変容を実感したりすることができるようにする。 ○ 考えをもつことができていない子どもには、「～と～が、……あるのです。」という文の構成に着目させることで、重要な語に着目して必要な情報を見付けることができるようにする。
<p>3 刺繍に映し出されているものについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 刺繍に映し出されているもの <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="font-size: small;">(刺繍に関する一文) そっと広げてみると、そのワイシャツのうでに、小さな、きこのように開字書のかさ、その下に、S・Iと、わたしのイニシャルが水色の糸でしゅうしてあります。</p> <p style="font-size: small;">(取り出した言葉) イニシャル ・私を助けてくれた。 ・十五年間見守ってくれた。 ・お母さんのことを覚えてくれた。</p> <p style="font-size: small;">水色の糸 ・落ち着き ・冷静 ・平和</p> <p style="font-size: small;">原字書のかさ ・悔い ・怒り ・憎しみ ・二度としてはいけない</p> <p style="font-size: small;">感謝 ・忘れないでほしい。 ・ここから私の人生が始まった。 ・稲毛さんと出会った日</p> <p style="font-size: small;">出発 前向き (+) 後ろ向き (-)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 刺繍に関する一文から取り出した言葉を短冊に書き出し、重要度を問い、並べ替え、理由を話し合わせることで、それぞれを関係付けながら理解を深めることができるようにする。 ○ 原子雲のかさは二面性があるため、比較できるように板書することで、怒り等の感情を表すものではなく、前を向いて生きようとしているヒロ子の思いに気付くことができるようにする。 ○ 刺繍の色が水色でなく、例えば黒や赤等であったらどのような印象になるかを問い、考えさせることで、刺繍したという事実だけでなく、色にもヒロ子の思いが表れていることに気付けるようにする。 ○ 事柄を矢印で結んだり、複数から言えることを見いだしたりさせることで、刺繍に映し出されているものを関係付けながら捉えられるようにする。
<p>4 話し合ったことを基に、刺繍に映し出されているヒロ子の思いに対する考えを確かなものにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 刺繍に映し出されたヒロ子の思い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">(例) 稲毛さんへの感謝と、戦争を乗り越え、前向きに生きていくヒロ子が映し出されている。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ★ 話し合ったことを基に、小グループで刺繍に映し出されているヒロ子の思いについて対話させ、考えを書かせる。それにより、自他の考えの相違点を明確にしたり、よさを認め合ったりして、考えを確かなものにするようにする。
<p>5 本時の学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えと確かな考え <ul style="list-style-type: none"> ・ 考え … 本時の始めに書いたもの ・ 確かな考え … 本時の終わりに書いたもの ○ 考えの変容の有無やきっかけ ○ 次時の見通し <ul style="list-style-type: none"> ・ にわうるしの木と優れた叙述との関連付け 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の始めと終わりに書いた考えを比較し、考えの変容の有無やきっかけを確認したり、他方の作品も本時と同様に考えることができるかを問うたりする。そうすることで、本時の学びを実感したり、言葉の力を自覚したりすることができるようにする。

10 本時の評価規準

「S・Iのイニシャル」、「原子雲のかさ」に着目し、ワイシャツの刺繍には、感謝とともに、前向きに生きていくヒロ子が映し出されていることを書いている。(思考・判断・表現①)【記述分析】